



(注)

あっちのこぶたが ぶりゅーぶりゅー  
かあさんぶたが おこつてた

あそこはあぶない きのはがあかい  
いってはいけない ぶりゅーぶりゅー

こっちのこぶたも ぶりゅーぶりゅー  
かあさんぶたが おこつてた

すっかりわすれて うかれてて  
いつのまにやら ぶりゅーぶりゅー

あっちもこっちも ぶりゅーぶりゅー  
ちきゅうのうえは ほら みてごらん  
ぶりゅーぶりゅー ぶりゅーぶりゅー

ウクライナ（一九八六年）

フリーフリー。わたしは、ぶたです。名前は「まるまる」。へんな名前ですが、本名です。飼い主は、三つ編みおさげのターニャ。生まれたばかりのわたしを見て、「まあ、なんてまるまるした、ぶたのあかちゃん！」と、まっさきに叫んだのがターニャでした。同時にうまれたきょうだいは、十二頭もいたのに、ターニャが見ていたのは、わたしだけでした。

ターニャの家は、村はずれの農場にありました。両親とターニャが住む緑の窓枠の母屋、おじいちゃんとおばあちゃんが住む黄色い窓枠の小さな家、そしてわたしたちがいる家畜小屋が、横一列に、とんとんとん、と並んでいます。ターニャは七歳でした。毎朝、早くからパパといっしょに